

令和5年度（2023年度） くまもと「親の学び」プログラム 次世代編実践事例集



（西原村立西原中学校における次世代編講座の様子）

熊本県教育委員会



【 目 次 】

はじめに 1

くまもと「親の学び」次世代編実践協力校実施一覧 2

各校の実践

宇土市立網田中学校 3

荒尾市立荒尾第三中学校 4

菊池市立旭志中学校 5

菊池市立菊池南中学校 6

菊池市立菊池北中学校 7

大津町立大津北中学校 8

菊陽町立菊陽中学校 9

西原村立西原中学校 10

御船町立御船中学校 11

八代市立第六中学校 12

水俣市立袋中学校 13、14

球磨村立球磨中学校 15

上天草市立松島中学校 16

山鹿市立菊鹿中学校 17

紹介

動画で楽しく学ぶ「親の学び」オンデマンド講座

はじめに

熊本県教育委員会では、「くまもと家庭教育支援条例第13条」に基づき、中学生、高校生の「じりつ」（自律・自立）を促し、将来大人になることについて学ぶ「くまもと『親の学び』次世代編プログラム」(以下、次世代編プログラムという。)の推進に取り組んでいます。

令和5年度（2023年度）は、県内の中学校14校を実践協力校に指定させていただき、次世代編プログラムの効果的な活用について、実践を重ねてきました。

この14校の実践を取りまとめましたので、各学校におかれましては、次世代編プログラムの今後の積極的な活用にご役立ていただきますよう、お願いします。

★くまもと「親の学び」プログラムについて★

くまもと「親の学び」プログラムとは、保護者や生徒を対象にした参加体験型コミュニケーション講座を進行するためのプログラムです。

生徒向け「親の学び」プログラム（次世代編）は、まもなく大人になる高校生や中学生が、「大人になったとき」「親になったとき」に必要な『自立』と『コミュニケーション』をメインテーマにしたプログラムになっています。

また、保護者向け「親の学び」プログラムは、子供の発達段階に応じた「乳幼児期編」「小学生期編」「中高生期編」があり、テーマをもとに考えを出し合うことを通して、保護者が子育てについて前向きな気持ちを持ち、子育てのヒントを得ることができるプログラムになっています。

令和5年度（2023年度）

くまもと「親の学び」次世代編実践協力校 実施一覧

地区	実践協力校	実施日	講座実施者
宇城	宇土市立網田中学校	10月5日(木)	・宇城教育事務所 上原 弘光 社会教育主事
玉名	荒尾市立荒尾第三中学校	10月16日(月) 10月17日(火)	・玉名教育事務所 岩田 博史 社会教育主事 ・荒尾市生涯学習課 富田 慎也 社会教育主事
菊池	菊池市立旭志中学校	1月23日(火)	・菊池教育事務所 水上 堅悟 社会教育主事
	菊池市立菊池南中学校	7月13日(木)	・菊池教育事務所 水上 堅悟 社会教育主事
	菊池市立菊池北中学校	11月24日(金)	・菊池市 森上 恭子トレーナー ・菊池市 隈部 雅子トレーナー ・菊池市 江藤 美沙トレーナー ・菊池教育事務所 水上 堅悟 社会教育主事
	大津町立大津北中学校	9月12日(火)	・菊池教育事務所 水上 堅悟 社会教育主事
	菊陽町立菊陽中学校	12月5日(火)	・菊池教育事務所 水上 堅悟 社会教育主事
阿蘇	西原村立西原中学校	8月29日(火)	・阿蘇教育事務所 田木 祐一郎 社会教育主事
上益城	御船町立御船中学校	11月20日(月)	・上益城教育事務所 金子 正誓 社会教育主事
八代	八代市立第六中学校	12月6日(水)	・八代市生涯学習課 木本 芳照 トレーナー
芦北	水俣市立袋中学校	7月14日(金)	・芦北教育事務所 坂口 祥一郎 社会教育主事
球磨	球磨村立球磨中学校	8月25日(金)	・球磨教育事務所 尾方 英介 社会教育主事 ・球磨村 杉本 慧和トレーナー
天草	上天草市立松島中学校	7月6日(木)	・天草教育事務所 愛甲 崇 社会教育主事
山鹿	山鹿市立菊鹿中学校	6月8日(木)	・山鹿市立菊鹿中学校 山口 徹 教頭

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～宇土市立網田中学校での実践～



【宇城教育事務所】

【講座のテーマ】

人との接し方について～乳幼児との接し方～



【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）10月5日（木）
場 所：宇土市立網田中学校
日 程：5校時（13：30～14：20）
対 象：網田中学校 第3学年1組11名
進行役：宇城教育事務所 社会教育主事 上原 弘光

【講座の説明】

- ・生徒は、10月下旬に保育園での職場体験があるため、保育実習に生かすことができるプログラム「人との接し方について～乳幼児との接し方～」を実施した。



【プログラムの実際】

- 1 親の学びプログラムとは
- 2 アイスブレイク
- 3 すごろくトーク
- 4 メインプログラム
 - 人との接し方について ～乳幼児との接し方～
 - 赤ちゃんや園児とふれあったことは（グループ討議）
 - 実際に赤ちゃんや園児とふれあってみましょう（ロールプレイ）
 - 接するときのポイント
 - 赤ちゃんや園児が喜ぶ絵本・手遊び紹介
 - まとめ



【生徒の感想】

- ・幼児への接し方の難しさを実感することができた。
- ・今日の学びを生かしていきたい。
- ・楽しくいろいろなことを学ぶことができた。

【先生の感想】

- ・生徒は恥ずかしさもあったと思いますが、いつか大人になり親になることを考えると良い学びになったと思います。
- ・保育実習前にいい経験ができました。



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～荒尾市立荒尾第三中学校での実践～



【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

将来の夢に向けて、今の自分に必要な力を考えよう。



さいころトークでアイスブレイク



仕事をしていく上で必要な力は？



グループの考えをみんなで共有



今の自分にできることは何だろう？

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）10月16日（月）・17日（火）
場 所：荒尾市立荒尾第三中学校（2年生各教室）
日 程：2校時・3校時・4校時（9：50～12：40）
対 象：第2学年1組～5組（5学級）185名
進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 岩田 博史
荒尾市教育委員会 社会教育主事 富田 慎也

【講座の説明】

総合的な学習の時間の「社会体験学習」と関連付け、職場や地域社会に出て必要となる力について考えることをねらいとする。それぞれが必要と思う力に理由をつけて交流することで、友達の多様な考えにふれたり、今の自分を振り返ったりするきっかけとなる。また、今の自分にできること、やるべきことをアウトプットすることで、これからの学校生活につなげることもできる。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」プログラム講座次世代編について（ねらい）
- 2 アイスブレイク
○さいころトーク（5～6人のグループトーク）
- 3 メインプログラム
①「多様な人たちと仕事をしていくために必要な力は？」
※ランキングシートを作成→班で共有→全体で共有
②「今の自分にできることは？」
※自分にできること、やるべきことを考え、宣言書を書く
- 4 まとめ
○「頭」「心」「体」を鍛え、自分の力を高める

【生徒の感想】

- さいころトークで、初めて聞く話も多かったので、友達のことを知ることができて良かった。
- 自分の仕事には何が必要なのか考えたことがなかったので、いい機会になった。将来について興味をもつことができた。
- みんなの意見や考えを聞くことができたし、自分の意見も言えて、それをみんなが聞いてくれてうれしかった。
- いろいろな意見とつながって、みんなで話し合うことができた。もっとこういう授業をしたいし、もっとたくさんの人の新しい一面を知りたい。
- 班の人が、自分とは全然違うことを言っていて、「なるほどなあ」と新しい視点で考えることができた。

【参観者（学校職員）の感想】

- 生徒たちも楽しんで参加していたように思う。
- 生徒が社会参加について考えるいい機会になった。
- 自分の進路に向けて、何が今必要であるかを生徒とともに考えることができ、自分自身もとても勉強になった。今後の授業にも活かしていきたい。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～旭志中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】 2年生立志式の導入として

立志に向けて～大人になってからのことを考えよう！～

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）1月23日（火）
場 所：菊池市立旭志中学校2年生教室
日 程：5校時 13：30～14：20（50分）
対 象：第2学年 36名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 水上 堅悟

【講座の説明】

立志式に向けた単元の導入で活用いただきました。導入ということで、子どもたちに、自分が大人になった時のことに意識を傾けてもらうような内容にしました。大人になるとはどんなことなのか？その時に必要になる力はどんな力なのかを互いの意見を聞き考えることで、今の自分を見つめなおし、中学時代の今、身に付けておくべき資質・能力を見つけていく流れとなっています。

【生徒の感想】

- ・大人になるために、どんなことにも挑戦して自分の夢を叶えることができるように頑張りたいと思いました！
- ・後四年で成人する私たちに必要な能力を学べました。必要な能力について話す時間で主張したり傾聴したりすることで、その能力を高めることにつながったと思います！
- ・これから成長していくときに大事なことが分かりました。そして、高校受験や大学受験、就職のときなど人生の節目で活かしていきたいと思いました！
- ・自分の考えが広がって、色んな視野を持つことの大切さを感じました！
- ・将来に必要な力を知り、自分には何が足りないのかを知ることができました。足りない力を付けて、社会に必要とされる人になろうと思いました！
- ・親が何を考えているのか、自分も考えてみようというきっかけになりました！
- ・これまで、自分の未来のことについて考えることなどあまりなかったので、今日の時間を通して、自分の未来への見方が変わったような気がしました！

【先生方の感想】

- ・子ども達がとても喜んで活動していて、見ている側の私たちも楽しくなりました。
- ・授業をされている先生の熱量が子ども達に伝わり、とても活気のある時間となりました。子ども達が、これからを、どのように生きていけばよいのか具体的に分かりやすく楽しく理解させられていた様子がとてもよかったです。
- ・授業後「うなずき」「拍手」といったことが大事であることを実感しているようです。また「主体性」など、ダイヤモンドランキングで紹介してもらった項目も意識して取り組むことができているよう感じます。学べた内容が子ども達の生活に大きなプラスとなっています。

【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・なぜ今、親の学び講座なのか？
 - ・今日の講座のめあての確認
- 2 アイスブレイク
 - ・大人になるための訓練！視野を広くし、多様な考え方を柔軟に受け入れることが必要となる活動
- 3 さいころトーク
 - ・将来のことを想起するお題を班でトーク
- 4 ダイヤモンドランキング
 - ・大人になって大事なだと思われる16の力を各自でランキング！
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定後に全体共有
 - ・経団連のアンケート結果や社会人基礎力について聞き、自分が大切だと思う力を思考
 - ・将来に向けてやっていくべき行動目標を決定！
- 5 まとめ
 - ・今日の学びについて感想交流



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊池南中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】 2年生職場体験学習の導入として ダイヤモンドランキング～仕事をするときに必要な力～

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）7月13日（木）
場 所：菊池市立菊池南中学校多目的室
日 程：3校時 10：35～11：25（50分）1・2組
4校時 11：35～12：25（50分）3・4組
対 象：第2学年 138名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 水上 堅悟



【講座の説明】

中学2年生の職場体験学習に向けた単元の導入で活用いただける講座です。導入ということで、子どもたちに「仕事」というものを意識してもらえるように、自分になりたい職業の話題から入っていきます。そして、仕事をしていくうえではどのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていくことで、今の自分を見つめなおし、仕事を始める前の今、身に付けておくべき資質・能力を探ってもらう内容となっています。最後は、自分の目標（夢）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・なぜ、親の学び講座を中学生が受けるのか？
 - ・今日の講座のめあての確認
『将来、仕事をするときに必要な力について考え、自分の行動目標を立てよう！』
- 2 アイスブレイク
 - ・大人になるための訓練！
視野を広くし、多様な考え方を柔軟に受け入れることが必要となる活動
- 3 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題を班でトーク
- 4 ダイヤモンドランキング
 - ・将来仕事をしていくために必要だと言われている16の力を各自でランキング！
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定後に全体共有
 - ・経団連のアンケート結果や社会人基礎力について聞き、自分が大切だと思う力を思考
 - ・将来に向けてやっていくべき行動目標を決定！
- 5 まとめ
 - ・今日の学びについて感想交流

【生徒の感想】

- ・大人になることについて、周りの人たちの意見をたくさん聞いて良かったです。将来仕事をしていくために大切な力を身に付けていけるように、これから頑張ります！
- ・仕事をするには、いろんな力が必要だけど、その一つ一つが大事だと思ったので、一つずつ増やしていきたいです。夢が人生を変えるかもしれないので、いろんなことに挑戦していきたいです！
- ・仕事をするために大切なことをしっかり考えることができました。班のみんなの意見も聞いて、自分の考えを見直すこともできました！
- ・自分の将来に向けて何をすべきなのかが分かったような気がしました。小さなことを積み重ね、苦手なことも少しずつ克服していきたいです！
- ・自分達で考えるのは難しかったけど、だからこそ分かったことがたくさんありました！
- ・自分達で考えて学びを深めていくのがおもしろかったです！もうちょっと、ゆっくり話が聞けたらよかったと思いました。
- ・今回、いろんな人と仕事をするときに必要な力を考えたことで、自分が必要だと思う力が分かりました！
- ・自分の将来の夢の実現のために頑張りたいことを決めたので、実践していきたいです！
- ・まだ将来の夢は決まっていけど、今日習ったことを通して決めていきたいです！
- ・自分達の親は、自分で働いてお金を稼いですごいなと思いました！



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊池北中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】 保護者と一緒に、将来のことについて考えよう！ ～ 授業参観での取組 ～

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）11月24日（金）
場 所：菊池市立菊池北中学校 1年・2年各教室
日 程：5校時 13：00～13：50（50分）
対 象：第1学年（41名）・第2学年（41名）・保護者
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 水上 堅悟
チーム菊池：森上トレーナー 隈部トレーナー
江藤トレーナー



【講座の説明】

1年生は「自立に向けて考えよう」2年生は「仕事をするうえで必要な力」というテーマのもと、大人のモデルである保護者の方と生徒と一緒に考えていく講座です。子ども達は、自分の親だけでなく、同級生の親からも意見を聞くことができ、将来のことだけでなく、自分の親のことにも考えをめぐらすことができます。また、保護者の方は、自分の子どもさんがどのように同級生と関わっているか、また同級生の子も達がどのような考えを持っているのかを知ることができ、子ども保護者共に学びが深まる講座となります。

【プログラムの実際 1年生】

- 1 講座について
 - ・なぜ今、親の学び講座なのか？
 - ・今日の講座のめあての確認
- 2 アイスブレイク
 - ・保護者も一緒に、体と心を動かしほぐします！
- 3 さいころトーク
 - ・将来のことを想起するお題を保護者も一緒に班でトーク！
- 4 北中ハローワーク～自立への第一歩～
 - ・「職業自立」「身辺自立」「社会的自立」の3つの自立があることを知る！
 - ・今の自分は「身辺自立」「社会的自立」がどの程度できているか保護者と一緒に見つめる！
 - ・社会的自立のチェック項目の中で、もっと大事だと思うものを各自で選び、保護者も一緒に班で共有！
 - ・自立に向けてやっていくべき行動目標を決定！
- 5 まとめ
 - ・今日の学びについて感想交流

【プログラムの実際 2年生】

- 1 講座について
 - ・なぜ今、親の学び講座なのか？
 - ・今日の講座のめあての確認
- 2 アイスブレイク
 - ・大人は分かるという体裁の問題を、保護者も一緒に取り組みます！
- 3 さいころトーク
 - ・将来のことを想起するお題を保護者も一緒に班でトーク！
- 4 ダイヤモンドランキング
 - ・将来仕事をしていくうえで大事だと思われる16の力を各自でランキング！
 - ・保護者の意見も聞きながら、班の1位を決定後に全体共有！
 - ・経団連のアンケート結果や社会人基礎力について聞き、自分が大切だと思う力を思考！
 - ・将来に向けてやっていくべき行動目標を決定！
- 5 まとめ
 - ・今日の学びについて感想交流

【1年生 生徒の感想】

- ・自立していくためには、夢を持つことが大切だということが分かりました。好きな事から発展させていこうと思います！
- ・改めて親の力があっての自分だと感じました！
- ・同級生の親と話すなど交流できてとても楽しかったし、学ぶこともできました。今後の生活に活かしていけることがたくさんありました！

【2年生 生徒の感想】

- ・今からの一生懸命が好きでやりたいことに繋がっていくということが特に分かりました。
- ・親と一緒に受講することで、経験の多い親の意見を聞くことができ、より将来に活かせると思いました。
- ・将来について、自分がどう思っているのかが見えてきた気がしました。
- ・今足りない力をしっかり身に付けていきたいです！

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～大津北中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】 2年生職場体験学習の導入として ダイヤモンドランキング～仕事をするときに必要な力～

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）9月12日（火）
場 所：大津町立大津北中学校体育館
日 程：5校時 13：55～14：45（50分）
対 象：第2学年 262名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 水上 堅悟

【講座の説明】

中学2年生の職場体験学習に向けた単元の導入で活用いただける講座です。導入ということで、子どもたちに「仕事」というものを意識してもらえるように、自分になりたい職業の話題から入っていきます。そして、仕事をしていくうえではどのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていくことで、今の自分を見つめなおし、仕事を始める前の今、身に付けておくべき資質・能力を探ってもらう内容となっています。最後は、自分の目標（夢）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・なぜ、親の学び講座を中学生が受けるのか？
 - ・今日の講座のめあての確認
『将来、仕事をするときに必要な力について考え、自分の行動目標を立てよう！』
- 2 アイスブレイク
 - ・大人になるための訓練！
視野を広くし、多様な考え方を柔軟に受け入れることが必要となる活動
- 3 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題を班でトーク
- 4 ダイヤモンドランキング
 - ・将来仕事をしていくために必要だと言われている16の力を各自でランキング！
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定後に全体共有
 - ・経団連のアンケート結果や社会人基礎力について聞き、自分が大切だと思う力を思考
 - ・将来に向けてやっていくべき行動目標を決定！
- 5 まとめ
 - ・今日の学びについて感想交流

【先生方の感想】

- ・大変分かりやすく話をしてくださいました。子どもたちも大盛り上がりでメリハリをつけて取り組ませていただきました。進路学習もまだほとんどしていないので、進路や仕事について考えるいい機会となりました。また、今からでも意識して身に付けていく大切な力が分かったと思います！
- ・大切にしたい点を小グループで共有しながら話をすることができたのがよかったです！
- ・生徒の実態に応じて生徒の良さを引き出していただきました。特別な環境や行事でパワーが発揮できる生徒だと思えます。そのような子達にとって大切なことを伝えていただきました。ありがとうございました！
- ・支援学級の子も達と一緒に講座を聴きました。ランキングを考えたり、トークゲームをしたりと子ども達が楽しめる内容でしたので、考えながら講座を聴くことができました。私自身も子どもたちと色々話しをしながら参加できたのでよかったです！
- ・大人になるにつれて必要となっていく力（コミュニケーション能力、信頼性など）を考えるよい機会になってよかったです。大人になった今でも、自分ができているかと考えさせられる項目がいくつもあったので、私自身も考えたいと思います！
- ・難しすぎず、誰でも楽しみながら学べる内容だったのでよかったです。参加型というところが、子ども達が自分事として考えることができるポイントだと思いました！
- ・子どもたちが楽しみながらも、自分の将来について真剣に考えることのできる機会となり、大変よかったです。その後の職場体験、学校生活にもつながる内容だったので、良いタイミングだったと思います。また、子どもたちの考えを尊重する接し方も参考になりました！



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊陽中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】1年生進路学習の一環として 菊陽中生のハローワーク～自立へ向けての第一歩～

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）12月5日（火）
場 所：菊陽町立菊陽中学校体育館
日 程：4校時 11：40～12：30（50分）
対 象：第1学年 215名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 水上 堅悟

【講座の説明】

1年生の進路学習の一貫として活用いただける講座です。今の自分の自立度についてセルフチェックした後に、一番大切だと思う自立した行動について班で話し合う活動を設けます。そのことを通し、これから自分がどのような力を身に付けたいのか、また身に付けるべき力はどのような力なのかを探ることができる講座です。最後は、その力を身に付けるための行動目標を立てて終わります。中学生の進路学習の導入として適した講座です！

【プログラムの実際】

1 講座について

- ・なぜ今、親の学び講座なのか？
- ・今日の講座のめあての確認

2 アイスブレイク

- ・大人になるための訓練！
視野を広くし、多様な考え方を柔軟に受け入れることが必要となる活動

3 さいころトーク

- ・将来のことを想起するお題を班でトーク

4 菊陽中生のハローワーク～自立へ向けての第一歩～

- ・3つの自立「職業自立」「身辺自立」「社会的自立」について知る！
- ・「身辺自立」「社会的自立」についてセルフチェックする！
- ・「社会的自立」の行動指標の中で、最も大切だと思う行動を考え、班→全体で考えを共有する！
- ・自立した大人になるために、今後やっていくべき行動目標を決定する！

5 まとめ

- ・今日の学びについて感想交流

【生徒の感想】

- ・「自立」と一言と言っても、社会的なものや身辺的なものなど、いろいろあることが分かりました。自分ができていないところにも気づけたので今後、意識していきたいです！
- ・自分自身のことをいろいろと振り返ることができたので、もっと自分の生活を見直そうと思いました！
- ・今日の講座で、今後の目標が決まりました。特に身辺自立ができていないので、親に頼らず自分でできるようにしたいと思いました！
- ・まだ、大人にはなりたくないけど、なってみたいと思えるようになりました。
- ・正直に言うと、このような集まりは好きではありません。でも今回はとても楽しく感じました。しかも内容も分かりやすかったです。
- ・そもそも、子どもだし自立なんて無理でしょうと思っていたけど、自立にも種類があって今の自分でもできる自立があることが分かりました。
- ・みんなの考えを聞いてよかったです。新しい学びがありました！
- ・サイコロトークで班のみんなと話せて、班の人のいろんな思いを聞いたのでよかったです！またやりたいと思いました。



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～西原中学校での実践～



【阿蘇教育事務所】

【講座のテーマ】

未来に向かって考えよう

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）8月29日（火）

場 所：西原村立西原中学校

日 程：3・4校時（10：40～12：30）

対 象：第2学年（2学級）77名

進行役：阿蘇教育事務所 社会教育主事 田木 祐一郎

【講座の説明】

これから大人になる中学生が、「自律・自立」「コミュニケーション」をテーマに、社会から求められる力について考えることをとおして、進路や自立に向けて考えるきっかけとする。また、自分自身やお互いのことを知り、豊かな人間関係を築こうとする心情を高める。

【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク
- 2 アドジャントーク
 - ・中学生になった自分について、話してみよう、聞いてみよう。
- 3 メイン活動

～未来に向かって考えよう～

 - ・職場や地域社会で、多様な人々と仕事をしていくために必要な力は何だと思えますか？
 - ① まずは、自分で書いてみよう。
 - ② グループトークで話し合おう。
 - ③ クラスみんなで共有しよう。
- 4 まとめ

互いの思いや願いを知り、それぞれの違いを認め合いながら、学び合い、高め合っていくことが、よりよい未来につながっていく。

【生徒の感想（抜粋）】

- 未来の自分について考えるうえで必要なことや身につけたい力がはっきり分かった。
- 今後どのような人が求められているのかがわかった。自分もいろいろとチャレンジしてみようと思う。
- 友達の夢や身につけたい力がわかった。関わりの少ない人とも話せて、とてもいい機会になった。
- これから何が必要になっていくのかをグループで話し合っただけで考えが深まった。
- 一人一人意見がバラバラで、個人で考え方が大きく異なることに気づいた。
- 自分が思う理想の自分になれるように、今のうちから努力したい。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～御船町立御船中学校での実践～



【上益城教育事務所】

【講座のテーマ】

親（保護者・大人）としてスマホの使い方について考えてみよう



活動② アイスブレイク

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）11月20日（月）

場 所：御船町立御船中学校

日 程：6校時（14：50～15：40）

対 象：御船中学校 第1学年3組（1学級）27名

進行役：上益城教育事務所 社会教育主事 金子 正誓

【講座の説明】

身近な道具となっているスマホ等の利用方法について、親の立場になって考えることをとおして、実生活を見つめ直したり、親子が納得する利用上のルールを考えたりして安全で正しい使い方について考える機会とする。



活動③ メイン活動1

【プログラムの実際】

- ① 「親の学び」次世代編の説明
- ② アイスブレイク
（情報機器の使い方を意識するサイコロトーク）
 - ・ 進行を円滑にするため、トーク内容にプログラムに係る参加者の実態や考えを含める。
- ③ メイン活動1
（スマホの使い方について考える Yes・No クイズ）
 - ・ 家庭環境等によって判断は分かれ、一つの答えは無いことを確認する。
- ④ メイン活動2
（親と子どもどちらも納得する方法を考えるワーク）
 - ・ ある親子の会話を例示して、役割演技を通じて自分事として考えさせる。
- ⑤ グループ協議
（トラブルの事例をもとにした協議）
 - ・ トラブルの事例を紹介し、「自分だったら」と考えさせる。
- ⑥ まとめ
（ワークシートに振り返りを記入する。）
 - ・ 自分だけは大丈夫と考えず、親子とも納得するルールづくりの必要性についておさえる。
 - ・ 今後も様々な場面で、「将来どんな大人になっていたか」と考えてほしいことを伝える。



活動④ メイン活動2



活動⑥ まとめ

【実践校の感想】

（生徒）ルールはやはり決めた方がいい。やめる時刻を決めたり、使わない時の保管場所を決めたりする。

（生徒）面白い授業だった。まず、今から自分が気を付けたい。

（教師）良い機会となった。今後は担任等により、第1学年全学級及び他学年でもこのプログラムを実施する。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～八代市立第六中学校での実践～



【八代教育事務所】

【講座のテーマ】

私の意見と親の意見 ～スマホの利用を通して～



【アイスブレイク しあわせじゃんけん】

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）12月6日（水）

場 所：八代市立第六中学校

日 程：5校時（13：45～14：35）

対 象：八代市立第六中学校 第1学年 41名

進行役：八代市生涯学習課 木本芳照トレーナー

【講座の説明】

親子スマートフォンを使った SNS 利用のことで言い合っている場面をもとに、親の主張と子どもの主張の背景にある理由を考えます。

お互いに意見がぶつかり合わないようするために、そして、安全にスマートフォンを利用することができるようにするために、生徒同士で意見を出し合い、その考えをもとにして、今後のスマートフォン利用について考えるきっかけとなるように、テーマを設定し、活動の流れを考え、実践しました。



【メインプログラムで話し合っている様子】

【プログラムの実際】

- ① 講座の「目的」「学び方」について確認する。
- ② アイスブレイク
（しあわせじゃんけん・サイコロトーク）
- ③ メインプログラム
私の意見と親の意見～スマホの利用を通して～
- ④ 振り返り
- ⑤ まとめ
「ルールづくりと相談しやすい関係づくりが大切」



【まとめの活動】

「ルールづくりと相談しやすい

関係づくりが大切」

【生徒の感想】

- ・親と一緒に納得できるルール作りをすることで、自分が安心してスマホを使っていけると思った。
- ・何か起きてからでは遅いので、気になることは、親に相談していこうと思った。
- ・スマホを使う時間とルールを守ることで、親も安心してくれると思うので、まずは、今決めているルールをしっかりと守っていこうと思う。
- ・自分が親になったときは、子供とお互いに納得いく利用の仕方ができるように、普段からコミュニケーションをとっていきたいと思った。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

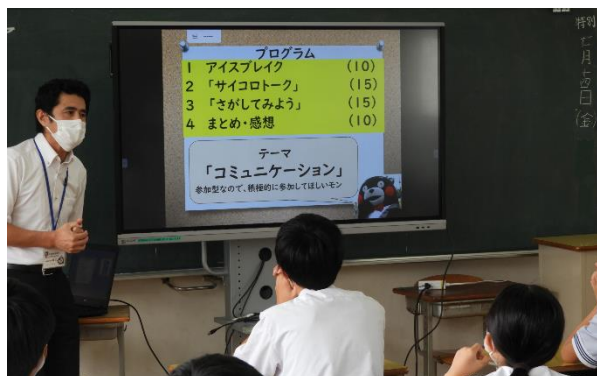
～水俣市立袋中学校での実践～



【芦北教育事務所】

【講座のテーマ】

聞いて！話して！友達のこと、自分のこと



【講座の目的を確認】



【アイスブレイク】



【サイコロトーク】



【グループ内の共通点を紹介】

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）7月14日（金）

場 所：水俣市立袋中学校

日 程：3校時（10：40～11：30）

対 象：袋中学校 第1学年 24名

進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 坂口 祥一郎

【講座の説明】

『コミュニケーション』をメインテーマとした講座内容とした。アイスブレイクやサイコロトークを活用し、自分を紹介し合う活動やクラスメイトとの共通点を探す活動等をとおして、互いを知ることの必要性や、豊かな人間関係を築く上で大切なこととは何かについて学ぶことができる内容とした。

【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク①
 - ・かさなったらパン ・ひらりひらり
- 2 「親の学び」プログラム講座次世代編について
- 3 アイスブレイク②
 - ・見え方の違い ・連想ゲーム ・バースデイチェーン
（見方、考え方の違い、共感することの大切さを実感することができる活動とグループづくり）
- 4 活動① 話し合い活動で大切にしたいことを考える
- 5 活動② サイコロトーク（お互いのことを知る活動）
- 6 活動③ 「さがしてみよう」（グループの中での共通点を探し、全体に発表）
- 7 活動の振り返り、まとめ

【生徒の感想】（一部抜粋）

- 相手と話すときは、否定するのではなく共感したり、相手と共通の話題で話したりするとよいことがわかりました。また、うなずいたり反応したりするとよいこともわかりました。サイコロトークでは、今まで知らなかった相手のことが知れてよかったです。
- みんなといっしょにコミュニケーションをとることはとてもいいことだと感じました。みんなの趣味やおもしろいことや誕生日などが知れてとても楽しかったです。
- 友達と深く話せて、とても楽しかったです。これからも友達との会話を大切にしようと思いました。また、色々な人と会話で絆を深めようと思いました。
- 相手の目を見て話すことやしっかりと聞くことの大切さ、また、一人一人好きなことが違うことを知りました。これからは、一人一人の気持ちを考えて話したいです。
- 自分のことについて話ができてよかったです。私は将来就きたい職業や自分の好きなものについて話しました。とても楽しかったです。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～水俣市立袋中学校での実践～



【芦北教育事務所】

【講座のテーマ】

SNSの使い方を見つめ直そう



【アイスブレイク】



【SNSに関する〇×クイズ】



【自己診断】



【子どもの主張への返答を考える】

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）7月14日（金）

場 所：水俣市立袋中学校

日 程：5校時（14：00～14：50）

対 象：袋中学校 第2学年 18名、保護者

進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 坂口 祥一郎

【講座の説明】

SNSは使い方によっては便利でもあり、また、危険性も伴うことを理解し、日頃の自分のSNSの利用の仕方を見つめ直したり、親の立場になって考えたりする活動とおして、安全で正しい利用につなげることをねらいとした。

【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク
 - ・かさなったらパン ・絵から見え方の違い
（雰囲気づくりと、受講するにあたっての心構え）
 - ・バースデイチェーン（3人のグループづくり）
- 2 SNSに関する〇×クイズ
（SNSの危険性について、知識の確認）
- 3 SNSの使い方を見つめ直そう
 - ①ワークシートで自己診断
（各種SNSの利用状況と興味、関心について）
 - ②ある親子の会話から
（子どもの主張へ返答を考える、お互いの主張がぶつからないように）
 - ③考えた内容をもとに役割演技
 - ④納得する方法の考察
- 4 まとめ

【生徒の感想】（一部抜粋）

- 〇講座をとおして、SNSに対する親の思いなどがわかった。今までは、スマートフォンがほしいと親に言っても、だめだといわれてきたが、その理由がなんとなくわかった。もしこれからSNSを使うときは、気をつけて使おうと思った。また、きちんと親の意見と思いを聞こうと思った。
- 〇自分が思っていた以上にSNSというのは怖いもので使い方を考えないといけないことがわかった。親がSNSに写真などの個人情報をおけるとだめだと言うのは、私のことを考えてくれていると知ることができた。これからは、SNSの使い方には、十分注意して、楽しく使っていきたい。
- 〇親と子でSNSに対してどんな気持ちの違いがあるのかを知ることができた。また、親がどんな心配をしているのかがわかり、ちゃんとルールをつくることにも意味があると感じた。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～球磨村立球磨中学校での実践～

【球磨教育事務所】



【講座のテーマ】

将来について考えよう～未来予想トーク～



「親の学び」次世代編のねらいを聞く様子

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）8月25日（金）

場 所：球磨村立球磨中学校

日 程：4校時（11：40～12：30）

5校時（13：40～14：30）

6校時（14：40～15：30）

対 象：球磨中学校 第1学年1組（28名）

第2学年1組（16名）

第3学年1組（26名）

進行役：球磨教育事務所 社会教育主事 尾方 英介

杉本 慧和トレーナー



すごろくトーク（次世代編）の様子

【講座の説明】

これから大人になる中学生が、今の段階で自分の将来について考えることで、今後の進路や自立に向けて考えるきっかけとする。また、将来への見通しをもたせるとともに、自分自身やお互いのことを知り、豊かな人間関係を築こうとする心情を高めることをねらいとして講座を実施した。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
 - ・「親の学び」次世代編のねらいを知る。
- 2 アイスブレイク
 - ・頭の体操（広い視野と柔軟な考えをもつために）
 - ・しあわせジャンケン
- 3 未来予想トーク
 - ・すごろくトーク（次世代編）をする。
- 4 今の自分が考える将来設計は？
 - ・すごろくトークで話したことをもとに、4択クエスチョンに答える。
 - ・今の自分が考える「未来予想図（将来設計）」を書く。
 - ・その将来に向かって、今、自分に何ができるか考える。
- 5 まとめ
 - ・今日の学びについて感想を交流する。



「将来設計」について考える様子



グループ内で発表する様子

【生徒の感想】

- ・これからの進路を決める時期に、自分の将来を考える機会になってよかった。また、将来に向かって何ができるかを考えることができてよかった。
- ・人によって将来のことが違って、話を聞くだけでも楽しかった。自分でも将来のことはわからないので、これからの人生が楽しみになった。
- ・私は、まだ進路を決めることができていないので、今回学んだやり方で考えたり計画を立てたりしていきたい。
- ・自分の将来について、まだはっきりとしたことは決まっていなくても、今回立てた未来予想図に少しでも近づけるような行動をしていきたい。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～上天草市立松島中学校での実践～



【天草教育事務所】

【講座のテーマ】

中学生の今、何ができる?! ～自立について考えよう～



【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）7月6日（木）

場 所：上天草市立松島中学校 体育館

日 程：6校時（14：35～15：25）

対 象：松島中学校 第1学年 48名

進行役：天草教育事務所 社会教育主事 愛甲 崇

【講座の説明】

アイスブレイクの後、今の自分のことについて、すごろくトークで語り合い、自身のことを確認するとともに、お互いを知り合った。その後、自分自身の身近自立、社会的自立についてセルフチェックを行い、結果を交流した。

後半は、セルフチェックの結果をもとに、未来に向けて「中学1年生の今、自分がやるべきことは何か、何をがんばりたいのか」を考え、友だちや先生に宣言した。

まとめでは、メジャーリーガーの大谷翔平選手の「大谷ノート」から、夢に向かってどう行動するか、どう努力していくかを考えることの大切さについて確認した。



【プログラムの実際】

（・生徒の反応）

●プログラム1 アイスブレイク

●プログラム2 すごろくトーク（次世代編）

- ・将来の夢は、まだ、はっきりとは決まっていないよ。
- ・ぼくのストレス解消法は、早く寝ることだよ。

●プログラム3 自立度チェック

「自立度チェック」～身近自立、社会的自立～

- ・親にしてもらっていることがまだまだ多いな。
- ・家での勉強に、あまり集中できていないな。
- ・あいさつは、できている方だ。
- ・社会のルールやマナーをしっかり守らないと。

「これから成長したいのはどれか選んで理由を書こう」

- ・自分が成長しないといけないのは、ここだな。

●プログラム4 未来に向けて

- ・わたしががんばるのは、毎日の勉強。
- ・生活のリズムをよくして、時間をうまく使いたい。
- ・将来のことを少しずつ考えて、それに向かって取り組みたい。

●プログラム5 まとめ

さあ、受験や将来のことを考える時期です。これからのあなた自身の行動が、「中学校生活」「未来」を創ります。

家族、先生、友達。応援してくれる人のことを思いながら、中学生の「今」、できることをやってみよう！

【生徒の感想から】

- ・自分には何が足りなかったのか、そしてこれから自分はどのような行動をしていけばいいのかがわかりました。
- ・これからは自分でみんなに宣言した「自分であることを当たり前にする」ということを、言葉だけでなく行動で表していきたいと思います。
- ・これからの生活の仕方について考えたり、友だちと目標の交流などをしたりして、視点が広がりました。
- ・すごろくトークで、友だちの新しい一面が分かって楽しかったです。
- ・みんなの夢や考えなど、いろいろなことを知ることができ、よかったです。
- ・自分の夢はイラストレーターで、叶わない夢とあきらめていたけど、少しでも希望がもてたり、自信がついたりしたのでとてもよい体験になったと思いました。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～山鹿市立菊鹿中学校での実践～

【山鹿市教育委員会】

【講座のテーマ】

今の自分に必要なこと（次世代編）



アイスブレイク「サイコロトーク」



ダイヤモンドランキングの作成



意見の交流



班でのランキング作成

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）6月7日（水）

場 所：山鹿市立菊鹿中学校

日 程：5校時（13：40～14：30）

対 象：菊鹿中学校 第3学年1組 32名

進行役：菊鹿中学校 教頭 山口 徹

【講座の説明】

自分の夢を実現するために、将来必要となる力について考え、夢を実現するために必要な力を伝え合いながら、今後の自分にとって必要な力や自分の行動目標を考えることができる講座です。また、班員に宣言をすることで互いを認める流れとなっています。

【プログラムの実際】

- 今日の講座のめあての確認
自分の夢を実現するために、将来必要となる力について考え、自分の行動目標を立てよう！
- アイスブレイクを行う
 - Clap your hands
他の人の考えを否定しないことなど学習の約束を確認し、話しやすい雰囲気を作ろう。
 - サイコロトーク
「〇年後の私」のテーマを班でトーク
- ダイヤモンドランキング
 - 将来仕事をしていくために必要だと言われている力を各自でランキングする。
 - 意見交流
 - 班でランキングを作成する。
 - 企業が求める人材像を知る。
 - 将来に向けてやっていくべき行動目標を考える。
- 本時の学習を振り返る。

【生徒の感想】

- 〇いろいろな人とたくさんコミュニケーションを取ったり、人から言われて動くのではなく、自分から考えて行動していきたい。
- 〇私は、「真面目さ、誠実さ」が大切だと思うので、任された仕事を途中で投げ出したり、諦めたりせずに責任を持って何事も最後までやり遂げられるようになりたい。
- 〇大切に感じていることや考え方に違いがあることが分かった。自分も友達の考えも大切にしていきたい。

動画で楽しく学ぶ 二次元コードから簡単に視聴できます！ぜひご覧ください！

「親の学び」オンデマンド講座

「親の学び」オンデマンド講座とは



科学的知見に基づく子育てのポイントや豆知識について、短時間の動画視聴で、いつでもどこでも楽しく学ぶことができる講座です（6～8分程度）。

※対面講座のプログラムの一つとしても活用できます。

1 「睡眠編」正しく理解、睡眠のあれこれ



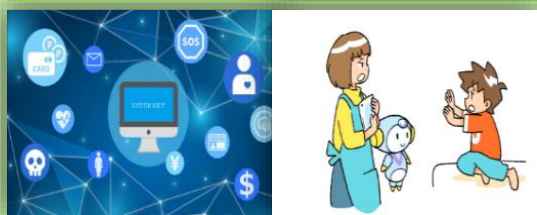
決まった量の睡眠は体内時計を整えることや、発達段階に応じて必要な睡眠時間をとることなど、睡眠の正しい習慣に関するクイズを交えて学びます。

【睡眠編】



<https://youtu.be/hHwDDZZTheae> <https://youtu.be/hHwDDZZTheae>

2 「デジタル機器編」正しいデジタル機器との付き合い方



スマートフォン等のデジタル機器の使用時間や家庭内におけるデジタル機器の使用のルール作りなど、クイズを交えて学びます。

【デジタル機器編】



<https://youtu.be/Rz0PcxiXjg> <https://youtu.be/Rz0PcxiXjg>

3 「スマホ編」考えようスマホとの距離



日常のスマホやタブレット等の使い方を見直したり、ペアレンタルコントロールの活用について話し合ったりすることで、正しい習慣に関することについて学びます。

【スマホ編】



<https://youtu.be/42KR63jU-SI> <https://youtu.be/42KR63jU-SI>

4 「朝ごはん編」朝ごはんを食べよう！



朝食をとることのよさ、朝食を抜くことや夜型生活による悪影響について、調査結果や科学的根拠をもとに、学力や体力との関係について学びます。

【朝ごはん編】



<https://youtu.be/E1FHazsf5mA> <https://youtu.be/E1FHazsf5mA>



つつかないモン
Keep Diet

WITH



手を洗うモン
Wash Hand

コロナ



換気をするモン
Open Window

熊本県教育委員会

問い合わせ先 市町村教育局社会教育課 ☎ 096-333-2697

